

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学校の教育目標

文武両道の精神を重んじ、知・徳・体の調和のとれた教育を実践し、豊かな人間性を育むとともに、地域やビジネス社会が求める幅広い知識と技術、新しいアイデアや解決策を見出す想像力を育成する。

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- (1) グラデュエーション・ポリシー
(2) カリキュラム・ポリシー
(3) アドミッション・ポリシー

総合的な探究の時間の学習評価

- 〇プレゼンテーションなどの表現による評価
〇討論や質疑の様子などの言語活動の記録による評価
〇学習や活動の状況などの観察記録による評価
〇論文・報告書、レポート、ノート、作品、ポートフォリオ等による評価
〇評価カードや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価
〇保護者や地域社会の人々等による第三者評価

生徒の実態

- 〇家庭学習をほとんど行っていない。
〇部活動加入率が年々下がっている。
〇しっかりと挨拶をすることができ、基本的な生活習慣が身につけている。
〇3年生になっても就職と進学について決定できずにいる生徒が多い。
〇大学への進学はほぼ全員が総合型選抜、指定校入試等の制度を利用している。
〇生徒会主催の学校行事に積極的に取り組んでいる。

生徒の発達をどのように支援するか

〇配慮を必要とする生徒への指導

- 〇個別の教育支援計画に基づいて個に応じた指導を行う(支援ツールの活用)。
〇体験的な活動については、十分に注意し、安全に取り組むことができるように配慮する。
〇将来の社会参加に役立てられよう適宜、助言などの支援を行う。

目指す生徒の姿

- 〇家庭学習の定着、主体的な学び。
〇学習活動の中で自ら疑問や問題点を見つけ出せる。
〇学習や進路決定において、見通しや計画を立て、自ら取り組める。
〇他者の意見や考え方を取り込むことができる。
〇取り組んだ結果を分かりやすく発信できる。
〇自分の取り組んだ結果から、さらに新しい課題を見いだしている。

各学校が定める内容(目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力)

- 全学年
(1) 探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気付き、それらが人々との関わりや協働によって支えられていることに気付く。
(2) 自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身につけるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。
(3) 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。
1学年
〇探究活動の手法を知る
2学年
〇探究活動の総まとめ

学習活動、指導方法等

- 1学年
〇探究の手法を知る
2学年
〇探究活動総まとめ

指導体制(環境整備、家庭・地域との連携)

- 〇校内推進体制の整備
〇授業担当者会議
〇教職員の研修